

令和5年度第3回名張市障害者施策推進協議会 議事録

日時：令和6年1月11日（水）

午後3時30分から午後5時まで

場所：名張市役所 3階 301・302会議室

1. あいさつ

会長挨拶

- ・新年あけましておめでとうございます。年始に大きな災害があり、広域での連携の必要性を強く感じた。今日は第六次障害者福祉計画の承認の場であるが、伊賀圏域だけではなく、より広範囲の連携強化を目指すという文言を入れるのはどうか。復興支援についても考慮すべきかもしれない。

（事務局）

- 出席・欠席委員の紹介
- 会議成立の報告と、傍聴公開（0名）の確認

2. 議事

（1）第六次名張市障害者福祉計画（案）について

（事務局）～説明～

第2回の会議でご審議・ご意見いただいた箇所を訂正した素案を作成し、令和5年11月17日から同年12月18日の約1か月間にわたりパブリックコメントの実施を行った。パブリックコメントは0件であった。前回会議から変わった点を中心にご説明させていただく。

2ページ 2計画の基本理念 4行目：「福祉の理想郷を目指し」の表記を「人と人々が支え合う地域共生社会の実現を目指し」に修正。

3ページ 3.計画の基本目標 1段落：表記修正。

5ページ 6.重点施策 (3) 2段落：より具体的にという意見をいただいたが、別章での説明とさせていただいた。

第4章

1.啓発と交流の促進：若年層の参加促進や具体的な取組の表記、また、インクルーシブの考え方を前面に出してみてもどうか等の意見をいただいたことから、14ページ (2) ④関係機関と協働した啓発等の部分を追記した。

2.福祉サービスの充実：より具体的な内容を表記してはどうかというご意見をいただいていたが、福祉サービスの内容に特化した第7期障害福祉計画を策定していることから、本計画では概要のみの表記とさせていただいた。一方で、21ページ (2) ①地域生活支援拠点の充実や22ページ ②計画相談支援の充実の部分については、内容の追記を行った。

3.雇用・就労の充実：法定雇用率に関して、誤りを修正した。

4.育成・教育の充実：31ページ (1) ①のタイトルを「育成施策及び就学前教育の充実」から「インクルーシブ教育システムの推進」と変更し、それに伴い記載順を調整。また、既に名張市では障害児へのインクルーシブ教育の実

践が行われているというご意見を基に修正・加筆を行った。32 ページ②のタイトルを「学校教育の充実」から「教育環境の整備」に変更し、一部内容の修正を行った。34 ページ (2) ①②については、(1)に合わせて記載順の調整等を行ったが、内容についての大きな変更はなし。

(会 長) 事務局より説明があったが、何か意見はあるか。

(副会長) 26 ページ ④障害者雇用の促進 5 行目～について、雇用率を達成するために障害者人材が必要である、とあるが、これでは企業の立場から捉えた文章になっている。障害者の立場から考えると違和感を覚えるので修正をお願いしたい。

(会 長) 「さらなる障害者人材の活用を図り、障害者雇用率の達成に努める」とするのはどうか。

(A 委員) 14 ページ ③福祉教育の推進について、住民の理解促進のためには、幼少期からの福祉教育だけでなく、社会への啓発も必要であると考えます。

(会 長) 「共に」「同時に」「加えて」等を追記し、地域社会への啓発と福祉教育のどちらも記載するのはどうか。

(B 委員) 範囲が広く、読むだけでも大変だという感想を持つ。

(会 長) 分かりやすいように各分野に分けて標記している。

(副会長) 22 ページ ②各部署、関係機関との連携について、伊賀圏域障がい福祉連絡協議会は伊賀市の関係機関との連携だが、名張市共生地域デザイン会議は市内の関係機関との連携なので分けて記載してはどうか。

(会 長) ここは名張市共生地域デザイン会議を省くことで簡潔になるのではないかと。

(副会長) 22 ページ ②計画相談支援の充実について、1 段落目と 2 段落目の記載が類似しているので整理すべき。また、1 段落目は個別のニーズ・2 段落目は全般的な内容になっていることから、順番を入れ替えて表記する方がよいのではないかと。加えて、3 段落目について、「相談支援の質の向上のために」を追記してはどうか。

(会 長) その意見を踏まえると、1 段落目は消去してもいいかもしれない。また、「相談支援の質の向上のために」を追記する等、研修の目的を冒頭に記してはどうか。

(C 委員) 第 2 回の内容が反映されており良い計画になっていると感じる。

(会 長) 新たに記載したらどうかというところも踏まえて、何か意見はあるか。
能登半島地震を受けて、伊賀圏域だけではなく、より広い範囲で協定を結ぶ等したほうが良いと思ったがどうか。

- (D 委員) 歯科医師会として、他市町や県との連携システムは実際に存在している。
備えあれば憂いなしという活動をしていきたいと思うので、何かご意見があれば教えていただきたい。
- (会 長) 名張で災害が起きた場合だけではなく、他地域で災害が起きた時に名張市として何ができるのか。大きな修正・加筆は難しいと思うが、計画の中にどのように反映できるのか。例えば、アグリをきっかけに繋がる市町村も多いので、そういう繋がりを災害時にも生かせるような体制づくりを目指したい。
- (事務局) 遠方の自治体と協定を結んでおり、この度の能登半島地震についても三重県が割り振るタイミングで応援に行く等、システムとしては存在している。
- (会 長) 施策の目標に入れなくてもいいのか。
- (事務局) 災害については、より広い分野でのことになる。37-38 ページ ④防災、防犯等の推進に記載があり、本計画についてはこのままの記載に留める。
- (E 委員) 会長が言ったことは大変重要なことだと思う。今回の地震でも、障害者の避難について問題が上っており、本計画において、より具体的に災害時の障害者への対応について記載いただきたい。
- (B 委員) 避難所に行かない人もほとんど。これを機により具体的に考え、詰めていきたい。
- (会 長) 障害者の避難場所についてもっと考えていかないと。お互いに助け合うシステムを本気で考えていく時ではないかと思う。名張市から強いメッセージ性を伝えていただきたい。しかし、この計画は事務手続きを踏まえてきているので、ここで大きく変えることはできない。
- (F 委員) 障害者の避難所の必要性を感じている。
- (会 長) 障害者の避難について、どのように対応するのか明確に記載することを目指してほしい。私ごととして検討していただきたい。
- (C 委員) 第 4 章 1. 啓発と交流の促進の「交流」を広義に捉え、ここに広域での連携を入れるのはどうか。庁内での事務手続きを踏んできたのは承知の上だが、そうは言っていられない部分もあるだろう。
遠方の自治体とも協定を結んでいるとおっしゃったが、一般的な協定なのか、障害者福祉に特化した協定なのか教えていただきたい。
- (事務局) 全分野が含まれた一般的な協定である。
- (副会長) 遠隔地との協定の重要性についてだが、難しいことでもあると思っている。能登地震により障害福祉施設も大変な状態で、実際に法人に要請も来ている。グループホームの受入れについて問い合わせも来た。伊賀市・名張市で連携しているが、名張市で地震が起きた時は大抵伊賀も同様に大変な状況にあるだろう。その場合には、

広域の協定を結んでおかないと不十分であろうと実感した。本計画でも修正・加筆は必要だと思う。

(会 長) 今回の計画での大きな訂正は難しくても、次計画からは大きな柱の1つとして取り入れていきたい。今回の計画については、会長・副会長・事務局で文言の訂正を行うことでご理解いただきたい。

(G委員) 避難所でのトイレの使いや避難方法等について、市の広報で定期的に掲載していただきたい。特集という形ではなく、定期的な記載にさせていただくことで意識が高まるし安心できる。

(E委員) アグリの活動について、アンケートで「農福連携」を知らないと答えた人も多かった。つばさ学園とも連携をして、訓練等をしていることを皆様にも知っていただきたい。また、周知していきたいと考えている。

(会 長) 教育委員会とも協議しており、進めている状況である。

(E委員) 子どものころから、農福連携に親しめるよう進めていただきたい。

(2) 第7期名張市障害福祉計画(案)について

(事務局) ～説明～

障害福祉計画は、障害福祉サービスの具体的な数値目標と達成状況を明らかにするため、障害者総合支援法に基づき、国の基本的な指針を踏まえて策定している。障害者福祉計画に対して、具体的な体制づくりやサービス等を確保するための方策を示す実施計画という位置づけである。令和6年度から令和8年度までの3か年を策定期間とし、名張市共生地域デザイン会議にて社会・経済状況等を踏まえつつ進捗の管理を行うとともに、分析・評価をする計画である。本会議で承認を得たのち、事務手続きを経て策定される。以下、概要の説明。

第3章

国の基本指針に沿って、本市の方向性を示している。

1. 福祉施設の入所者の地域生活への移行：現在、名張市の施設入所者数は83名だが、国の基本指針によると目標数値は78名となる。しかし、入所待機者が24名いるという状況下では、施設入所者数の削減と施設入所者数の目標達成は困難であると考えられることから、引き続き障害者支援施設やグループホーム、計画相談支援事業所等とネットワークを形成し、多様なくらしの場を整えながら地域生活の移行を支援していくことにより、国の数値目標に近づけていくことを本市の方向性としている。

2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築：伊賀圏域障がい福祉連絡協議会の中に精神障がい地域包括ケアシステム

ワーキングを設置し、地域移行の取組を進めている。

3. 相談支援体制の充実・強化等：基幹相談支援センターや、名張市独自の「まちの保健室」の取組等を記載している。また、相談支援体制の充実・強化の一環として、災害や感染症対応についての方向性も示させていただいた。
4. 地域生活支援の充実：地域生活支援拠点についてや、重度の強度行動障害を有する方への支援強化について記載している。また、19 ページ《参考》の表にあるような、地域生活支援拠点事業所を増やしていくという方向性を示している。
5. 障害児支援の提供体制の整備等：インクルーシブ教育の推進とともに、更なる支援の充実に努める。
6. 福祉施設から一般就労への移行等：福祉的就労や障害者雇用等、関係機関と連携し、個々のニーズに合わせた総合的な就労支援に努める。

(会 長) 事務局より説明があったが、何か意見はあるか。

(H委員) 精神障害者へも対応しているというケアシステムのところだが、退院後は地域で生き生きと暮らすと言っていたが、精神障害対応のグループホームは少ないように思う。

(事 務 局) 精神障害対応としているグループホームは市内に1か所だが、3障害対応としているところもある。また、市外となる場合はあるが、本人の入院している病院に近い施設への移行を支援することもある。

(H委員) 本人の意思を尊重することが重要視されることで、本人が家に帰りたと言えばそこで窓口がストップしてしまう。しかし実際は、親の高齢化等により家庭での支援が困難な状態であるため、家族はグループホームに入ってほしいと思っているケースもある。難しいと思っている。

(会 長) 地域福祉で済ませていいのか。家庭・家族が抜けている印象。そもそも、地域とは何か。実態がないものであるため、責任の所在も分かりづらい。

(F委員) 地域福祉については直面している課題である。支援者の高齢化や、地域をまとめることについて、難しさを感じている。

(会 長) もう少し家庭・家族に光を当てるのはどうか。人の心に寄り添うような行政をしていく必要があると思う。

(副会長) 日本人で福祉業界に来る人が少なくなり、海外とも連携しないとケア・支援が回らなくなるのは目に見えている。しかし、それについての具体的な取組はないのが現状。なんとかしないといけない。

(会 長) 随所に具体的な頭出しをしていってほしい。そして計画に盛り込んでほしい。

例えば、計画の最後の章に「今後について」を設定し、意見をまとめる等はどうか。

(C 委員) 21 ページ 本市の方向性に記載の表について、目標値なのか、見込み値なのか明確ではない。

(会 長) 現在は国が基準を定めているため、目標値と捉えていただきたい。

(I 委員) 33 ページ ～2023 (令和 5) 年 10 月の利用者～について、A 型利用事業所 (B 型利用事業所) を A 型事業所利用者 (B 型事業所利用者) に訂正。

国の目標を達成しなければいけないことや数値目標が全面に出てくるのは仕方がないが、個々のニーズによっては支援方法が数値目標の達成に繋がらない場合もあることをご理解いただきたい。

(事務局) 正しく訂正する。

3. 報告

(1) 障害者差別解消法 合理的配慮に関する報告

(事務局) 視覚障害者への合理的配慮について、企業側からいただいた相談内容の報告。

(B 委員) 事例内容の確認と当事者側からの意見。

(会 長) 相手に関わらず、どの人にも心を込めて対応していく必要がある。

4. その他

(事務局) 今後のスケジュールについては、本日いただいた意見を基に事務局で修正を行い、会長に最終確認をしていただく。その後、市役所内の事務手続きである主管室長会議、庁議を経て、2 月 7 日の教育民生委員会協議会で承認いただき、第六次名張市障害者福祉計画、第 7 期名張市障害福祉計画の策定という流れになる。庁内会議や市役所内における総務的、法務的なチェックを行う際に、言い回し等が変更される可能性があるため、ご了承いただきたい。全ての手続きが終わり次第、委員の皆様へ計画を送付させていただく。また、今後、会議録は概要版についての記載とさせていただきます。

(会 長) これをもって、令和 5 年度第 1 回名張市障害者施策推進協議会を締めさせていただきます。ありがとうございました。

(注) 議事録に記載しているページ番号等は、会議で使用した資料のページ番号です。実際の計画書のページ番号とは異なることがありますので、ご了承ください。